



仙台市では、戸別訪問等により仮設住宅に入居されている方々の生活状況や課題を把握し、平成26年3月に策定した生活再建推進プログラム（平成27年3月～生活再建加速プログラム）に沿って支援してまいりました。

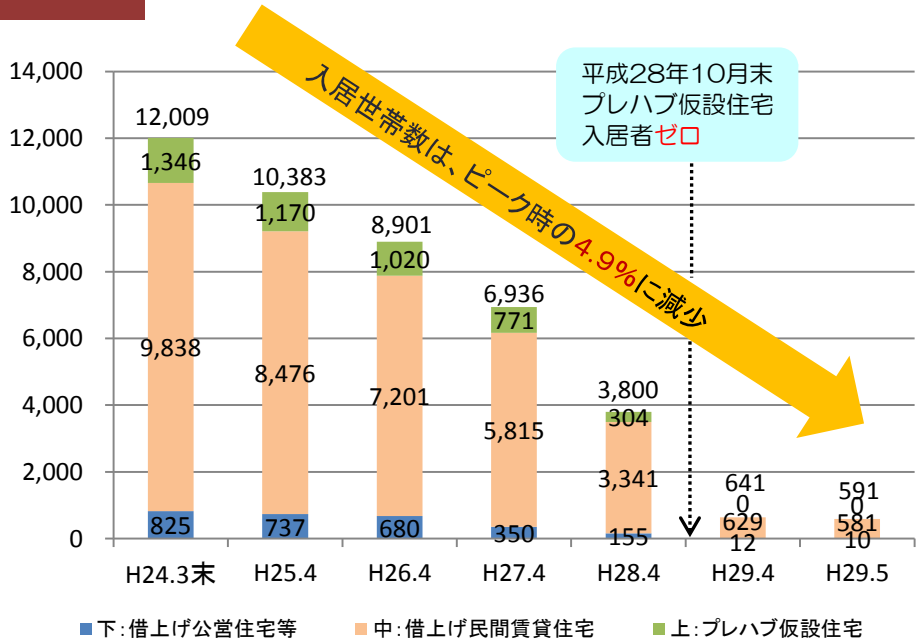
平成29年3月末には、本市で被災された方への仮設住宅の供与は全て終了しましたが、今後も仮設住宅の供与が続く市外で被災された方が、確実に再建を果たしていただけるよう、引き続き支援を行ってまいります。

## 入居世帯の推移

仙台市内の応急仮設住宅には、平成24年3月末のピーク時において約1万2千世帯が入居されていましたが、現在はピーク時の4.9%にまで減少しています。

また、プレハブ仮設住宅が平成28年10月末に解消され、市内の仮設住宅は全て「みなし仮設住宅（借上げ民間賃貸住宅※）・借上げ公営住宅等）」となっています。

※ 既存の住宅ストックを大量活用した初めての事例

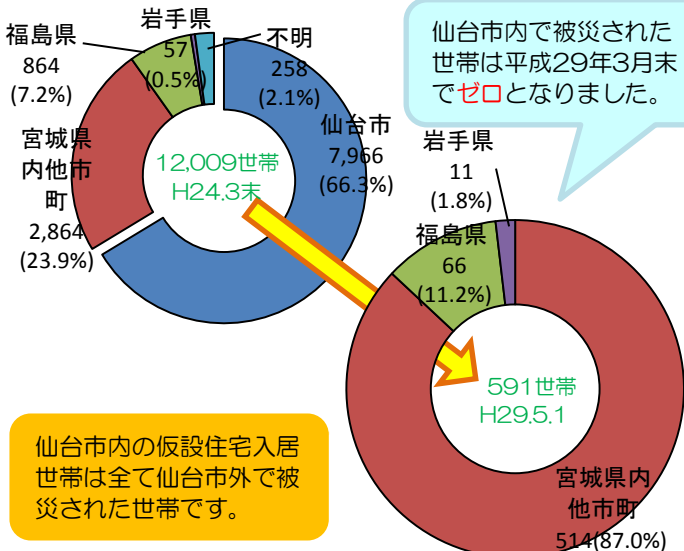


## 震災時の居住地と住まいの再建

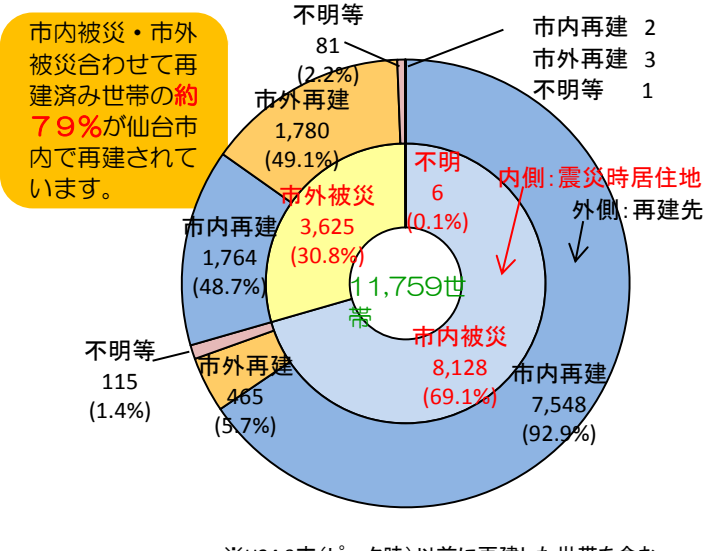
東日本大震災では避難が広域的に行われ、平成24年3月末のピーク時には市内仮設住宅入居世帯の約32%は市外で被災された世帯でした。現在、仙台市内で被災された世帯の仮設住宅供与は終了し、市内の仮設住宅入居世帯の全てが市外で被災された世帯となっています。

また、既に再建された世帯のうち、市内で被災された世帯の約93%、及び市外で被災された方の約49%が仙台市内で再建されています。

【震災時の居住地別入居状況】



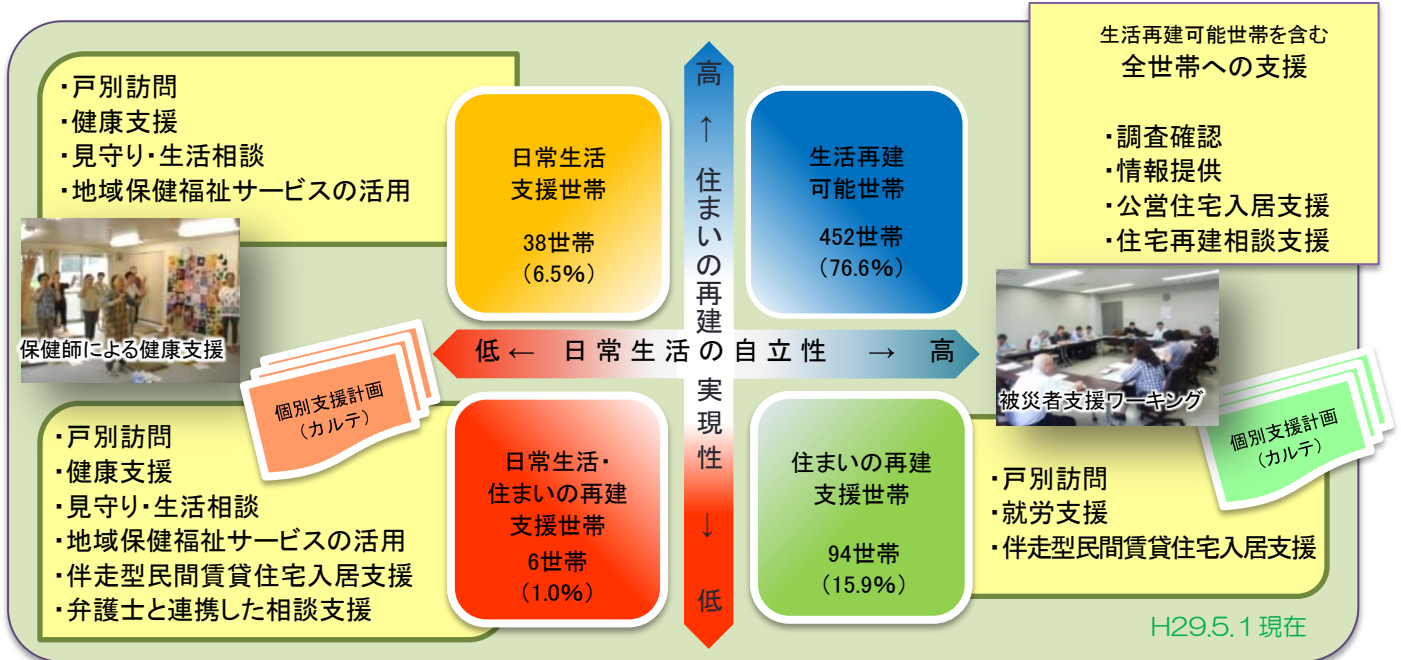
【震災時の居住地別再建先】



※H24.3末（ピーク時）以前に再建した世帯を含む。

# 入居世帯への支援

新たな生活の場へ供与期間内に確実に移行できるよう、課題を抱える世帯に対する移行支援策の充実・強化に加え、未だ接触できない世帯への対応にも取り組んでいます。



接触できない市内の仮設住宅入居世帯 1世帯

- 戸別訪問調査
- 情報提供や相談支援
- 居住実態のない世帯への退去勧奨等

市内で被災した市外の仮設住宅入居世帯 2世帯

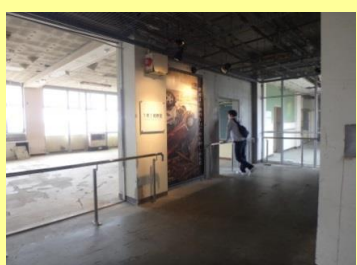
- 情報提供や相談支援
- 避難先市町村との連携

## ● 荒浜小学校の一般公開を開始しました ●

海岸線から700mの位置にある仙台市立荒浜小学校。東日本大震災で校舎の2階まで津波が押し寄せたものの、児童や教職員、地域の方々320人が避難し、難を逃れました。市では、津波の脅威や震災の教訓を後世に継承していくために校舎を整備し、4月30日に「震災遺構 仙台市立荒浜小学校」として一般公開を開始しました。被災した校舎や写真、映像などで津波の威力や脅威を伝えるほか、荒浜地区の歴史や文化、小学校の思い出なども紹介しており、開館時間内は自由に見学できます。



ゴールデンウィークには多くの方が来場されました。



1階廊下



4階展示室「3.11荒浜の記憶」



4階展示室「荒浜の歴史と文化／荒浜小学校の思い出」

- 開館時 10:00 ~ 16:00 ※入館無料
- 休館日 月曜日及び第2・第4木曜日（祝日の場合はその翌日）  
祝休日の翌日（土・日曜日、祝日を除く）  
年末年始・臨時休館日
- 所在地 仙台市若林区荒浜字新堀端32-1

敷地内に駐車場があります。バスでも行けます。（地下鉄東西線荒井駅から仙台市営バス 旧荒浜小学校行き終点下車）

この記事に関するお問い合わせ先 まちづくり政策局防災環境都市推進室 Tel.022-214-1117